

保護者の皆様へ

中学校の「情緒障害等通級指導学級」が 「特別支援教室」に変わります

令和2年度から特別支援教室での指導を開始します。

現在、中学校の通常の学級に在籍している発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等）やその傾向のある生徒の一部は、在籍学級における授業の一部に代えて、他校に設置された情緒障害等通級指導学級で特別な指導を受けています。

台東区では、全ての区立中学校に特別支援教室を設置し、在籍校で指導が受けられるように、拠点校から教員が各校に巡回する制度を令和2年度から実施することとなりました。

（小学校では平成29年度から実施しています。）

現在の通級指導学級体制

通級指導学級設置校に生徒が通級し、指導を受ける。



今後の特別支援教室体制

全ての公立中学校に特別な指導を行う教室を設置し、教員が巡回して指導する。



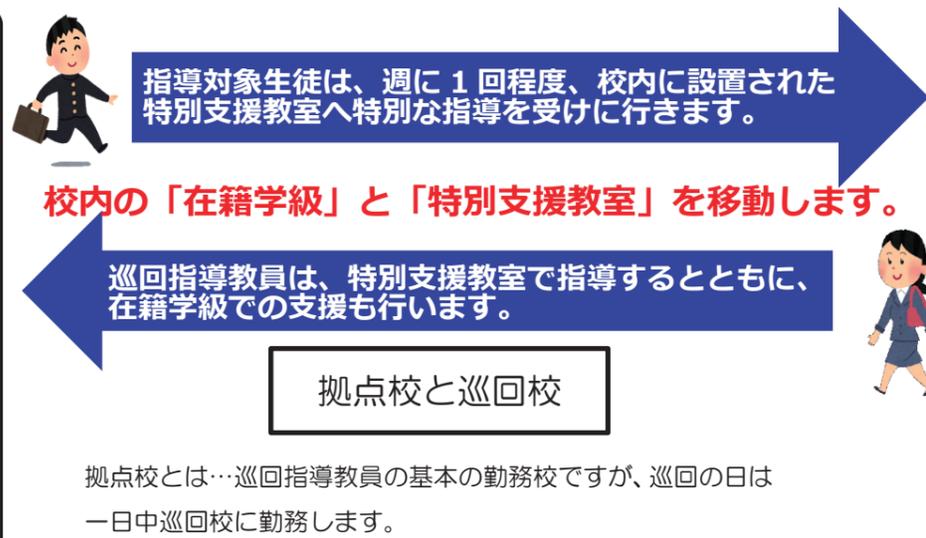
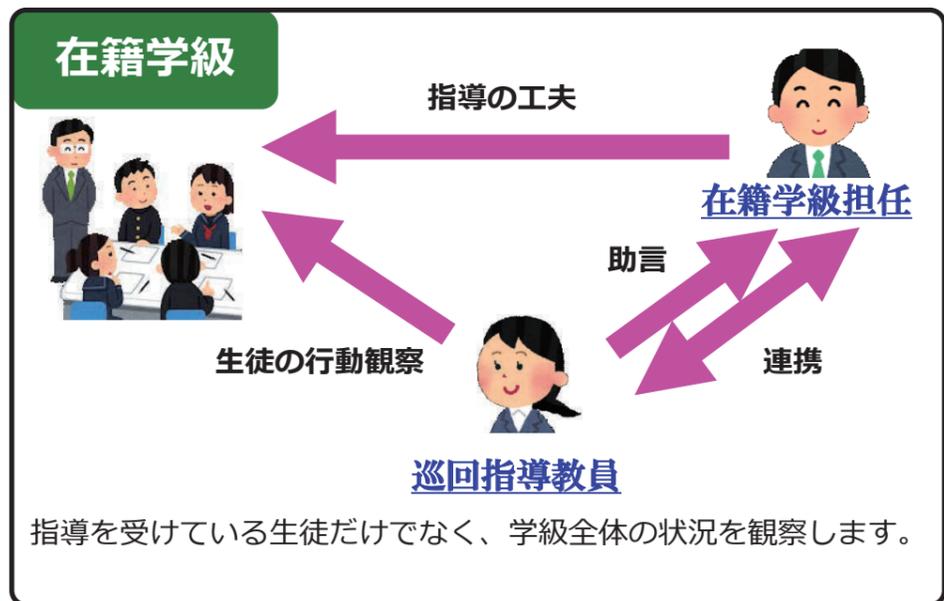
【特別支援教室導入により期待される効果】

- 在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になることで、きめ細かな対応ができるようになり、指導内容の充実が図られます。
- 教職員や保護者が指導の内容を知る機会が増え、一層の理解が図られます。
- 移動時間が少なくなり、授業を抜ける不安が緩和されます。
- 専門的見地からのアドバイスを受けることで、進路や将来について具体的イメージを持ちやすくなります。

令和元年9月
台東区教育委員会

お問合せ 教育委員会学務課（特別支援学級担当） ☎03-5246-1416

各中学校における指導・支援の体制



申込みまでの流れ

保護者・本人・学校で相談

↓

校内委員会

↓

教育委員会に書類送付
(令和2年1月9日必着)
※新中1年生は、令和元年10月17日必着

↓

教育委員会面談・検査

↓

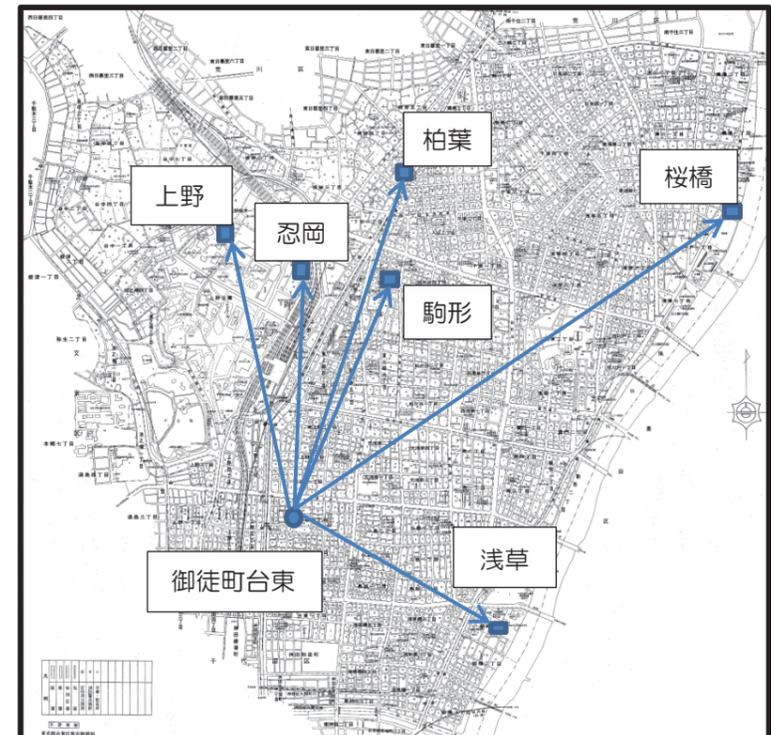
通級相談委員会
(利用可否決定)

↓

令和2年度スタート

拠点校	御徒町台東中学校
巡回校	柏葉中学校 上野中学校 忍岡中学校 浅草中学校 桜橋中学校 駒形中学校

特別支援教室の利用対象かどうかは、在籍学級での適応状況や本人の特性を踏まえ、最終的に教育委員会が決定します。
拠点校・巡回校で利用可否や指導内容の差はありません。



通級指導学級の指導とどう変わるの？

Q1 特別支援教室が導入されると指導の内容や時間帯はどうなりますか？
A1 通級学級で行っている生徒の障害の状態に応じた「自立活動」や「特性に合った学習方法を習得するための教科指導」を在籍校で受けられるようにするものです。時間数等は、学級担任と巡回指導教員等が調整します。

Q2 学校から言われたら必ず受けることになりますか？
A2 特別支援教室の利用は、保護者との合意に基づき各中学校の校長が申請します。強制ではありません。

Q3 難聴学級はどうなりますか？
A3 これまでどおり、柏葉中学校難聴学級に通級します。

特別支援教室で行う指導とは…発達障害のある、または同様の傾向のある生徒の特性に応じて行う「自立活動」や「学習方法を習得するための教科の補充指導」です。

障害種別	高機能自閉症・アスペルガー症候群	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	学習障害 (LD)
学習場面で現れる課題【例】	関わり方が一方的になりがち。 ◆コミュニケーションがうまく図れない ◆相手の立場になって考えることが難しい 等	些細な刺激が気になり注意を集中し続けることが難しい。 ◆授業中に席を離れてしまう ◆質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまう 等	知的発達に遅れは無いが特定の分野の学習が極端に苦手。 ◆字の形を捉えられず、書くことが苦手である ◆計算はできるが文章題の意味がわからない 等
指導事例	◆ロールプレイ等で、適切な会話ができるようになるための指導 ◆物語の登場人物の気持ちを考えるなどの指導	◆必要な情報を少なくし、いくつかの情報の中から必要なものに注目できるようにするための指導 ◆順番に人の話を聞くなど、ルールに従って行動できるようにするための指導	◆自分に合った学習方法を習得し、その方法を取り入れることで教科の学習ができるようになるための指導

台東区の特別支援教育

中学校特別支援教室のほかに、このような学級があります。いつでもご相談ください。

あたたかい環境のなかで

区立幼稚園・保育園・こども園全園

友達や先生と一緒に生活し、あたたかい環境のなかで心身の発達や集団生活に配慮を必要とする子供の成長を促しています。

家庭や専門機関と連携を密にし、より充実した生活を送ることができるよう、その子に応じた指導を行います。

また、清島幼稚園を中心として特別支援教育を推進しています。

問合せは 各幼稚園・保育園・こども園へ

ことばを豊かに心を豊かに

黒門小学校きこえとことばの教室

(難聴・言語障害通級指導学級)

聞き返したり、聞き間違えたりすることが多く、発音に誤りがある、知っている言葉や使える言葉が少ない、言葉を繰り返したり伸ばしたりする、「聞く・話す」に比べて「読む・書く」が著しく苦手…通常の学級で学習しているこのような子供たちが、週1回90分程度通級し、一対一の学習をします。

所在地：上野1-16-20

☎ 3833-4984 / ファクシミリ 3839-5153

身辺自立をめざして

蔵前小学校 ひまわり学級

松葉小学校 ひまわり学級

金竜小学校 かたばみ学級

(知的障害固定学級)

心身の発達、身辺自立、集団活動に配慮を必要とする子供たちが、生活全般を学習の場とし、一人一人の課題を自分の力で解決して楽しく学校生活を過ごす学級です。行事や学習を通して、通常の学級の児童と交流する機会を設けています。

蔵前小 蔵前4-19-11 ☎ 3851-0554

松葉小 松が谷1-13-16 ☎ 3841-2627

金竜小 千束1-9-9 ☎ 3871-9893

自信と意欲を

大正小学校いたどり教室グループ

平成小学校すずかけ教室グループ

石浜小学校あおば教室グループ

谷中小学校さくら教室グループ

(小学校特別支援教室)

さまざまな理由から、友達との関わり、感情の表現、集団活動に配慮を必要とする子供達のために、それぞれの個性や特性に応じた指導を在籍校内で行います。自立活動や特性に応じた学習方法を通して、自分もやればできるという自信と苦手なことにチャレンジしようという意欲を育てる教室です。

共に生き共に学ぶ力を

柏葉中学校 難聴通級指導学級

聞こえないことによって孤立し、学力不振になりやすい難聴の生徒への支援を行っています。

聴力管理・語いの拡充・教科の補充・情報保障などの支援を行っています。

同じ難聴のある生徒が集まることで、コミュニケーション能力を互いに伸ばし、学ぶ力をつけていく学級です。

所在地 下谷3-1-29

☎ / ファクシミリ共通 3871-9107

社会自立をめざして

柏葉中学校 知的障害固定学級

自分のもっている力を十分に発揮しづらい生徒がいます。一人一人の特性に応じて、学習を個別に進めたり、生徒の興味・関心に合う活動を中心に集団で学習するなど、内容や方法を工夫しています。また、校内の学校行事等に通常の学級と一緒に参加すると共に、他校の児童・生徒と合同行事を行い、交流を図りながら視野を広め、社会に出たときに必要な力を養っています。

所在地 下谷3-1-29 ☎ 3873-0063